

令和7年度地域課題解決プログラムの2次募集について

1. 趣旨

近年、大学の地域社会に対する貢献が強く求められています。岩手大学においても教育、研究に加え、地域貢献を3本目の大きな柱として積極的に取り組んでおり、共同研究や技術相談を通じて県内の企業等の抱える諸課題の解決に取り組んできました。

また、平成18年度からは、学生の積極的な地域社会への参画を促すために、地域社会の抱える様々な課題を学生の研究テーマとして募集してきました。自治体や企業等の抱える様々な課題を、指導教員の下、斬新な学生の視点から研究することにより、新たな展開が期待されます。

令和7年度も課題を募集し35件が採択されたところですが、この度第2次募集を行うことになりました。

応募いただいた課題について、担当学生を指導する学内の研究者を募集し、原則として学生の卒業論文研究や修士論文研究などとして進めることを予定しています。応募者に金銭的な負担は一切ありませんので、お気軽に御相談ください。

2. 募集内容

(1) 募集研究分野

分野は問いません。

(2) 募集期間

令和7年7月30日(水)から令和7年8月29日(金)まで

(3) 募集対象

県内の自治体、企業、NPO等

(4) 応募方法

別紙の申請書に記入の上、下記連絡先に郵送、E-mailいずれかの方法で申し込んでください。

(5) スケジュール

7月下旬～8月下旬	地域課題解決プログラム研究テーマの募集
9月上旬～10月下旬	応募のあった研究テーマの学内公募、応募者と学生(教員)のマッチング
10月下旬～11月中旬	審査(学内公募)、地域課題解決プログラム研究の採択、研究開始

(6) 研究費

岩手大学が負担します。(1件につき1年目10万円、2年目15万円×5件程度)

なお、予算の状況に応じて、採択件数が少なくなる場合があります。

(7) 研究期間

採択日(令和7年11月中旬予定)から令和9年2月末まで(1年4ヵ月)

(8) 知的財産の取扱い

大学が経費を全額負担するため、当該研究テーマから知的財産が発生した場合は、原則的に全て岩手大学に帰属するものとなります。(詳細については、御相談させていただきます。)

(9) 研究成果の取扱い

研究成果について、1年目は報告書を作成し、研究成果を公表する報告会を2年目となる令和9年3月頃に実施する予定です。

(10) その他留意事項

ア 審査を経て採否を決定するので、応募のあった全ての研究テーマが採択されるわけではありません。また、応募いただいた課題に対応できる教員がない場合もございますので、可能であれば事前に教員にご相談ください。

※事前相談がなければ応募できないわけではありません。

イ 本プログラムの成果は、学生の研究および学習の枠内にとどまるものであり、実利を求めるものではありません。また、全ての課題に対して対応できるわけではありません。

ウ 研究の成果により企業が収益を上げることを目的とする課題や、成果を公表したくない課題などについては、原則として共同研究として大学にお申し込みください。また、複数年にわたり同一教員へ継続した課題を依頼する案件についても、ぜひ共同研究での取組を御検討くださ

い。

エ 採択となった場合には、応募者からの支援（経費支援や協力人員）もいただけると、より研究が充実したものになると予想されますので御検討ください。

(11) 連絡先（問い合わせ・申込み）

〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-34 岩手大学地域協創教育センター

担当 今井 潤、寺山 貴大

TEL：019-621-6491・6492

E-mail: rcec@iwate-u.ac.jp

[申請書のダウンロード先]

<https://www.iwate-u.ac.jp/rcec/solving-program.html>

【参考】募集内容の対照表

時期	1 月募集（既存）	7 月募集（2 次募集）【今回】
対象課題	・ 地域からの応募があった研究課題 ・ 卒業研究又は修士論文の研究	・ 地域からの応募があった研究課題 ・ 卒業研究又は修士論文の研究
対象学生	学部 4 年生、大学院生	学部 3 年生以上、大学院生
研究期間	5 月～翌年 2 月（10 ヶ月）	11 月～翌々年 2 月（1 年 4 ヶ月）
上限額	15 万円	1 年目 10 万円 2 年目 15 万円
採択件数	30 件程度	5 件程度
成果報告	3 月に実施する成果報告会での報告	1 年目 報告書の提出 2 年目 3 月に実施する成果報告会での報告